

飯塚さん(栗栖工業)が厚労大臣顕彰

「安全な現場」誓い新た

中央3丁目の栗栖工業(栗栖龍男社長)の飯塚紀彦専務(49)がこのほど、とび職としての高い技術と長年の安全作業が評価され、厚生労働大臣顕彰を受賞した。「仕事はチームで行う。受賞は

職場のみんなのおかげ」と喜んだ。

飯塚専務は1985年入社。1級とび技能士と登録・篤土工基幹技能者など関連する11種類の資格を持つ。2008年に県マイスター認定。足場

や鉄骨の組み立て作業の主任者の技能講習会で講師も務めていて「この5年間が最も充実していた」と振り返る。

建設業労働災害防止協会(防災防)県支部から優良職長として評価され、13年の防災防新潟大会では功績賞を受賞。これらが顕彰につながった。

現在は現場責任者として作業指揮を執る。職長として現場を管理するだけでなく、複数の職長を取りまとめることも。

現場が重複すると資材や作業車両が不足するケースもあり、それをカバーする人員配置や補佐役



厚生労働大臣顕彰を受賞した飯塚専務(栗栖工業で)

を育てる工夫で苦勞することがあるという。

後輩職人には「足場を使つ人の気持ちになれ」と指導する。何も無い場所に足場を組むとび職の心配りが事故を防ぐと経験から感じるからだ。

今回の受賞を「チームプレーに必要なのはコミュニケーション。これからも安全な現場をつくりたい」と決意を新たにしました。(原田)